

# 故郷を喪失した パレスチナ人は “フクシマ”に 何を見るのか



“第二のノーベル平和賞”（ライト・ライブラフッド賞）受賞

## ラジ・スラーニ弁護士 来日支援のお願い

### “故郷”の意味を問う

パレスチナ・ガザ地区は今、イスラエル・エジプト双方による封鎖政策で、これまでにない深刻な生活物資不足に苦しんでいます。ヨルダン川西岸ではイスラエルによるパレスチナ人の土地の侵蝕が続いています。そのパレスチナの現状を世界に訴え、人権擁護活動を続けるラジ・スラーニ氏を、今年7月、日本に招聘します。

東京や京都でのパレスチナ・ガザ現状報告と共に、福島を訪ね、原発事故で故郷を追われた住民たちとの対話、現地視察を通して、共通の体験を持つパレスチナ人として、喪失した“故郷”“土地”の意味を問います。

#### ラジ・スラーニ氏の経歴

パレスチナを代表する人権活動家、オピニオン・リーダー。ガザ市で「パレスチナ人権センター」を創設。イスラエル占領時代、5年近く逮捕・拘留され、激しい拷問を受けた。長年の人権擁護の活動は国際的に高く評価され、ロバート・ケネディ人権賞（1991年）、フランス人権賞（1996年）などを数々の国際的な賞を受賞。昨年12月には、“第二のノーベル平和賞”ともいわれるライト・ライブラフッド賞を受賞。1953年、ガザ市生まれ。

